

参加者：石垣（日本うたごえ）、五十嵐（医労連）、吉田（全労連）、野村（全労連）、国吉（全労連）、利波（現地）、前川（原水協）、島田（民青）、西村（平和委員会）、大熊（東京うたごえ）、井沢（東京うたごえ）

現地実行委員会（2月15日）の報告

> 利波

15日の議論。22日までの日取りを決めることを優先事項に、パネルディスカッションの組み立て、30分の交流時間をどうするか、グッズについて、話し合った。

キャンペーン呼びかけ&賛同人について

> 前川

87人から賛同の承諾が来た。メッセージも一緒に来ています。特徴は高校生が非常に多い。さいたま高校生平和ゼミナール。京都や長野に転送して、どんどん高校生からの返信がある。あとは、いろんな肩書の方。これを一次分の賛同者として公開・活用していく。賛同人と呼びかけ人は、これからも集める。2010年の4月1日が期日になるか...

ワンポイント学習 記録映画『ヒロシマ・母たちの祈り』感想

原爆資料館で放送されている映像。最近、あらためてみつけたもの。

> 利波

前に筑紫哲也が亡くなった後、再放送された番組。原爆の製作、その後の調査に関わった人物が、日本人に「貴方は日本政府に怒りなさい」といった。あれだけの実相を見た上で、よくそんなことを言えるなあと。

> 石垣

いろんなドキュメンタリーなんかでは、頭で入ってくるものが多いけど、これはたんとんと事実のみを追っていく。ナレーションも映像の説明だけを行う。事実の持つ圧倒的な力。迫ってくる。こういう提示の仕方をわれわれも学んだらいいな。

> 前川

最近いろんな所で見ている映像。署名を集めまくっているお爺さんが、「私は何も見ていなかった」というぐらいの衝撃と、二度度繰り返してはいけないという思いを強めた。その思いを、準備委員会で。街の映像は、1ヵ月後、それなのにあの状況。信じられない。

平和資料館のミュージアムショップで販売。VHSでしかないが通販で購入可能。

1. つどい静岡に向けて

## 参加者組織

### > 前川

原水協のつかみで、青年のつどい参加は 50 人にみえない。危機的な状況。目標は 450 人。これからどれだけ多くのところに広げていけるかにかかっている。それぞれの組織での周知徹底を。地域からの参加もあり、正確につかむことは困難ではあるが、当日の参加人数は予断を許さない状況。神奈川、愛知、静岡は入っていない。当日に来るということも見込まれるが。

### > 利波

静岡県評の事務局はまだ動いていない。生協の職場では、青年労働者のところで賃下げがあり、全員に手紙を書く。あわせてビキニデーのことを伝えている。来ると言っている人は 10 人くらいいる。生協労働者のところは、神奈川はその日に高遠さんの講演会をする...。愛知、岐阜は来ると聞いている。

### > 前川

全学連が、全国会議と丸被りで、中心メンバーは来れないとのこと。幹部ではない人たちに呼びかける。和光大からは、5 人くると聞いている。民青の茨城東部地区から 8 人来る。去年は良かったし、10 人を目標に取り組んでいる。

### > 島田

民青同盟は、アピールを出して賛同人を募っている。まだ集約をとる体制が取れていない。

### > 野村

愛知は、その時の車に何人乗せられるか。

### > 前川

今年は土曜日で条件もいいので、来年に向けても。

### > 西村

JPC は、個別に聞いてはいるが、原水協に集約されていることとほとんど変わらないと思う。大阪、東京、愛知は、追求していく。

### > 石垣

東京ぐらいなら、ぎりぎり当日でも来れるという感があるが、各組織追求を。

## つどい静岡の運営・プログラム

### > 利波

前段の安齋先生の分科会に関わる人は、事前の設営などに関われないんじゃないか。アイスブレイクは、事前に始めてもらったらいいと思う。転換は 30 分でやってしまわないといけない。参加者が入ってくると会場の雰囲気もあるし、そこはうたごえがつかないでもらっているほうがいい。

### > 野村

残りのメンバーが分科会に参加していて、青年のつどいがやりやすいように、みえないところで準備するなど。

> 利波

アイスブレイクの時に、中か外かわからないが、平和でナイトがやっている“スローライフ”マイ箸物販をやれないか。

> 五十嵐

他の団体は？

うたごえ、農民連

> 前川

終わり方について、現地のスタッフと中央のスタッフでいっしょに上がる。現地を前に、中央を横・後ろに。“歩いていこう”を演奏してもらい、会場から出て行って、送り出しを兼ねたフィナーレに。

> 野村

アピールのあとは、拍手で確認し、手を振ったあとに、フィナーレ。

> 前川

野村さんが話し終わって、拍手で確認されて、手を振ったあと、“歩いていこう”を歌って去るということ。

> 石垣

“歩いていこう”を2010年までのテーマソングへと提案する。

パネルディスカッションについて（提案文書）

> 利波

スケジュールに落としたら、時間が少ない。なかなか蘊蓄を最初に語ってもらうのは難しい。安齋先生には全世界での反核包囲網がどうなっているのかを説明してもらって、ガインザさん、イさんからは、活動のきっかけと原動力、いまやっていることを語ってもらった上で、会場との質疑応答をやって、最後に、パネラーのそれぞれの立場で2010年にむけて、話してもらう。安齋先生からは青年へのメッセージ。質問用紙の事前回収について、受付の混雑があるが、事前に集め、パネリストにその場で引いてもらい、質問者を発表し、質問してもらい、それに答える。別の企画でやった時に、時間も短くできた。ガインザさんの通訳時間のことも考えないと。

> 前川

事前にパネリスト3人の質問を準備し、考えておいてもらう。安齋先生には、雇用、貧困、青年の身近な問題と核兵器廃絶がどのようにつながっているか。ガインザさん、イさんには、平和活動をする中での困難や逆に直面した経験、それを乗り越えた経験を聞く。

ジョゼフさんの字幕スーパーは、最初に話す内容と事前の質問についてはスクリーンに。

> 利波

出来合いの質問の回答する時間が確保されていないのは？

> 野村

質問は短いものを集める。よくある演説が始まらないように。

> 利波

現地で考えたのは、NPT の問題を前面に押し出すと、貧困の問題を話してもらうのは時間的にムリという議論になった。それだったら、安齋先生にだけ話してもらおうと、それが浮いてしまうんじゃないか。NPT を知らない人もいる。パネリストがどういう思いで活動しているかを話してもらったほうが、その後の感想交流につなげやすいんじゃないか。なんで安齋先生なのか、現地ではさまざまな意見がでている。

> 石垣

パネリストの方に、短い時間の中で何を聞くのかを。

> 五十嵐

現地と中央も、一致しているんじゃないの。

> 利波

イさんは、そう。ガインザさんのオバマに対する取り扱いが難しいと議論になっている。

> 西村

パネリストは、同じ話はしてもらわないように行ってもらったほうがいい。それぞれの個人的な原動力を話してもらうのはいいと思う。その上で、2010 年にむけたそれぞれの手ごたえを、「本当に核兵器なくせる？」「2010 年にむけての取り組み」など話してもらおう。

> 利波

2010 年、2010 年というのがしっくりとは来ていないが、そこでとどめを刺したいということだよ。そこに向けた原動力を話してもらって、青年が自分たちのところでどうするか考えられるように。

> 五十嵐

テーマの「2010 年 NPT へ～私たちができること」を話してもらったらいんじゃないの。

> 石垣

それは、後半に話してもらおう。前半はそれぞれの活動のことを話してもらおう。

> 利波

現場でやっている人と、学者として安齋先生をどう使うか

> 野村

中央案は、抽象的なものから具体的なものという順番か。ただ話しが被らないようにするのがいい。こちらが安齋先生に貧困問題を入れたのは、現地がそこ結びつける事を主張していたことから。とることはできる。質問者が名乗り出ないこともありえる。とくに今回のような大きな集会で、遠くからあるいて舞台前まで出てくるのは時間がかかる。パネ

ルディスカッションを成功させるなら。質問は読み上げ。パネリストに引いてもらってもいいが。

> 石垣

中身の部分は、中央と現地の折衷案で。始めは、現地の“思い、原動力”を話してもらおうもの。

> 西村

一人称が大事じゃん。2010年までの活動も“私たちができること”だから。

> 五十嵐

“それぞれの立場で”、というところだよな。

> 国吉

落としどころは

> 西村

展望が持てるようなものになればいいんじゃないか。

> 利波

パネリスト=人から入っているから、最終のまとめが後付けになるから苦しい。このディスカッションで何か得られるようなこと。反核包囲網が全世界では広がっていることがしれたら。

> 石垣

質問のやり方について。

まとめ

冒頭、それぞれが原動力を話してもらおう。

質問、やり方はこれから調整

最後、私は何をやるのかと青年へのメッセージ

> 利波

パネリストに引いてもらうことが大事。

> 西村

行き当たりばったりで楽しいときあるが、パネルディスカッションだから、コーディネートすることも必要ではないか。今回は、コーディネートしたほうがいいのでは。

> 五十嵐

質問用紙は集めたらいい、でも質問を選ぶことはしてもいい。いきなりぶっつけるのはどうか。

> 野村

ラジオ放送のようなライブ感が出る。突発ハプニングみたいなものはなくなる。

> 利波

ラジオだと、どういう質問を聞くか、議論しないといけない。現地は教科書どおりだと、何のための質問を聞いているんかわからないと話合っている。

> 西村

会場から集めるのは、突拍子もない質問が出るのが楽しい。

> 国吉

噛み合うか、かみ合わないかはある程度必要。プラスの質問は歓迎。なんか、あんまり建設的じゃない質問はちょっと。

選考委員を置く。

青年が語る部分。(30分交流時間)

> 利波

パネルディスカッションのあとの30分どうするか。会上のみんなで感想交流をして、こんなこと思ったと交流。映像などのフォローアップをしたほうがいい。20:35からルール説明。当たった人に感想を話してもらおう。パンフレットにナンバリング。くじ引きかサイコロで。5分×4人。

> 前川

高校生や初参加者などに、幅広く発言してもらいたい。参加者から始めの数人の発言は組織し(会場の前のほうに座っておいてもらう)、その後は希望者を。挙手で選ぶ。

> 利波

中央のやりかたは、出来合いのものでやってしまい、それだけで終わる。インタビューしている時間はない。あらかじめ決めておくということは、なんのための交流なのかという議論になる。だれが当たるかわからないけど。決められたルールの上を走るのは楽。何が起こるのかわからないけれど、こちらが準備し、考えてやるほうが楽しい。交流になる。

> 西村

当初は1分発言。平和委員会では、適当に宛てた。組織はしなくていいと思う。ライブ感がでる。

> 五十嵐

宛てるなら、しゃべりたい人がしゃべるものではない。あてられたら嫌という人もいる。

> 利波

静岡は決められたものをやるのはいや。活動報告もいや。

> 大隈

クジじゃなくてボールにしたら。トスもできる。

> 前川

フリーハンドは、活動報告になる。インタビューにして時間を切れるように。フレッシュな交流ができれば。

> 五十嵐

クイズへのこだわりは？

> 利波

クイズにはこだわっている。基本的なものを持って帰ってもらおうということ。フォローアップ。政治決着で金とともに原発があたえられたことなど。

> 利波

ぼくらが30分でなにをどうするか考えたのは、全体で意見交換ができること、みんなが一致点をもって、感心したり、感動したり、みんなが一体感を共有したい。

> 五十嵐

不正解者にパンフをあげたらいいんじゃない。ティローがいている参加者の交流と、クイズをするか、どっちをとるか。

> 西村

利波さんは、流れで把握しているから問題を深く捉えられると思う。それ自体はすごく大事なこと。若い人でも深めたい。ビキニデーでできることだと思っている。だけど、私たちの思惑はクイズではなかなかつたわらない気がする。

> 大隈

個人的に短い解説が加わればいいな。パネリストにも回答してもらおう。

>

交流として設定されて議論してきたので、交流をメインにする。

> 利波

クイズをつかって交流して感想を話してもらおう。

> 大隈

それが十分かどうかという議論。

> 利波

30分しか時間がない。4人ぐらいしかできない。クイズで、正解でも不正解でも会場がワーとなるような、動きが欲しい。感想を言っているだけでは、面白くない。エンターテイメント性をどこにいれるか。

> 五十嵐

しかし、この提案だとクイズがメイン。感想は言ってもらわなくてもいいくらいの時間になる。やるんだったら感想交流をなくさないで。クイズそのものが面白いから。学習内容も濃いし。

> 利波

静岡はクイズで学び、ディスカッションで交流をしてきた。

> 前川

クイズはパンフにいれたほうがいいのかなど。

> 利波

今日は、これからの流れを作っていくために静岡のメンバーとも議論したほうがいいと思う。

> 大隈

感想交流というふうにはならない。

> 利波

22日に議論して、24日にひっくり返ると困る。そして、22日を過ぎたらビキニデーのことはできない。

会議後に相談することに。ここで21時に。

運営について

> 石垣

具体的に運営に関わる人は、後に前川へ

> 利波

前段の分科会に入っている人が、こちらの運営にかかわっていないように。

配布パンフレットについて

> 野村

あつまっているのはこれだけです（閲覧）。パンフに載せるものが足りない。多すぎてこまったという状況を考えていた。締切は今週一杯。22日の夜いっぱい。

> 利波

クイズのパンフに入れるのは無理。作業できない。当日配布なら可能。締切を守った自分たちとしては、そのフォローをしてください。

グッズ

> 石垣

時間の都合上、次回以降で。

> 前川

静岡の会場で、グッズのジャンルを募集したかった。シール投票で。

> 野村

モノを決める投票を行う。

> 石垣

今日は、グッズをつくるシール投票をやるということを決定する。

その他

> 前川

今後の日程について、定例化を提案したい。第一火曜日で準備委員会。